

安心施策に係る具体的な方策(案)について 3

施策の方向性	
3 発達障害に対する支援を推進するための中核的な拠点施設として、発達障害(自閉症スペクトラム,注意欠如・多動性障害,学習障害等)等のある方とそのご家族が安心して、そして豊かに生活できるよう支援する。	
具体的な方策	説明
<山口県自閉症児者親の会宇部分会> ・ワンストップの相談機関(かけこみ寺のようなもの)を市役所に置く(自閉症親の会)	・市の職員(障害福祉課)であっても、対応がまちまちだったり情報などもよく知っている人や調べてくれる人もいれば、そうでない方も、というわけで窓口が受け取り解決できる職員に渡す
<特定非営利活動法人おひさま生活塾> ・フリースペースのようなものがあれば良い。市内に数箇所欲しい	・登校拒否になっている子ども達が多くなっている気がする。親子で安心して心が打ち解け合える場があると(相談員もある)気持ちも安らぐのでは
<在宅障害児者と家族を支援する会> ・山口県ペアレント・メンターを活かしてほしい。現在5名程度いる。診断間もない、一番つらい時期に寄り添いたいと思っている。 ・うべつくし園の立て直しをして欲しい	
<宇部すみれ会> ・人生を通じての相談機関や療育機関の設置の必要性	・自閉症スペクトラムなどの確立が少しずつ進んできてはいるが、幼少期に判明した人、または成人になってから判明した人など色々なケースが多く、特に成長するに伴って相談、療育機関が少ない。親の死後のケアも念頭に置いたものが必要と考えられる。